

## 思いやり

10月27日（水）に、たくさんのお客様が野田中学校を訪れ、皆さんの授業の様子を見ていかれました。皆さんが授業に真剣に取り組む姿から、次のような話をいただきました。

私が訪問した中学校で、野田中学校の生徒が一番落ち着いていました。また、タブレットの活用も一番でした。

3年生の理科の授業では、実験でつまずいても自分たちで解決しようと試行錯誤（しこうさくご）する姿、実験結果が予想と異なっていると自発的に再実験で検証（けんしょう）する姿、そして何よりも「できた！」という声、そしてその時の子どもたちのマスク越しでもはっきりわかる「笑顔」、本当に魅力的な授業、そして子どもたちでした。やはり授業はいいなあと思いました。

理科の授業でなくても、各教科の授業の様々な場面で、皆さんのよさが光るところがありました。10月27日（水）は、いつも以上に皆さんの表情がよかったように思います。

また、10月23日（土）には、地域の方からお電話をいただきました。いつも礼儀正しく、挨拶もしてくれる野田中学校の2年生の男子生徒3名が、側溝（そっこう）に何かを落として困っている小学生を見て、みんなで一生懸命、側溝のふたをあげ、小学生が落としたものを拾ってあげたのだそうです。お電話をくださった方は、その姿を見ていて涙が出てきたそうです。

きっと他にも、皆さんは地域の中で、困っている人を助けたり、人のために役立つことをしているのだと思います。地域の方々は、そのことをちゃんとわかっており、皆さんのことを認めているのだと感じます。

毎朝、学校の入り口に立っていると、丁寧（ていねい）に頭を下げ「おはようございます」と挨拶をしてくれる1年生がいます。その表情がとてもいいのです。何か思いやりとか優しさのようなものを感じるのです。1日の学校生活のスタートを丁寧な挨拶から始めているわけです。きっと充実した生活を送り、毎日、少しずつ成長できているはずですよ。

最近の出来事を中心に紹介しました。野田中学校の生徒の皆さんと接していると、ちょっとしたときに、「思いやり」を感じるがあります。学校には、目標やめあて、目指す姿などがあります。そこには、いろいろな言葉が出てきます。

もし、それらの中から一つだけ言葉を選んでくださいと言われたら、私は「思いやり」と答えます。「思いやり」を一番大切なものとして考えています。皆さんには、「思いやり」の心があります。それは、人が生きていく上で、とても大切なものです。これからも、宝物のように「思いやり」を大事にしてください。